

御嵩町立保育所等老朽化対策検討委員会での主な意見のまとめ（第1回の振り返り）

項目	内容
耐震・亜炭鉱廃坑の対策	・新築及び移転の場合、土地直下の調査をしっかりと行ってもらいたい。
保育の多様性を保証	・保育時間や経営母体、力を入れている点など、各施設によって違っている、それを保護者が選べるという点は魅力である。
保育園・児童館の併設における賛否	・一緒に遊べるなど前向きに考えると、上手な運営ができるのではないか。 ・一緒に遊ぶことで收拾がつかなくなると感じられる点が不安である。
未満児保育の充実	・新たに建てる場合は、以上児が増える見込みが少ないので、未満児棟などを建てる方が良いのではないか。
園の統廃合における賛否	・上之郷保育園はこじんまりしている点は良いと思うが、コストパフォーマンスは良くない。統廃合するという判断をしなければならぬ時期が来るのではないか。 ・まずは老朽化した保育園をどうするか、という点を判断してからで、これを判断していくのはまだ早いのではないかと。
認定こども園	・御嵩町が既存の保育園を認定こども園にするメリットはない。財政的な面もそうだし、現場が混乱しやすい。
建替えとなった場合の子どもへの配慮	・建替え中は園庭がないことが考えられる。近くに土地を買い、そこに新園舎を建て、既存の園を全て園庭にするのが、その時期の子どもにとっては良い。